

軍事保護院官制外三件審査委員會

昭和十四年七月三日(月曜日)本院事務所  
於之開會

出席者

近衛議長

原副議長

審査委員長

河合顧問官

審査委員

區  
審  
院

報  
密  
附

鈴木(貫左)顧問官

窪田顧問官

鈴木(莊六)顧問官

清水顧問官

荒木顧問官

潮顧問官

國務大臣

廣瀨厚生大臣

説明員

黒崎法制局長官

入江法制局参事官

井手法制局参事官

飯沼陸軍省人事局長

佐々陸軍歩兵大佐

三戸海軍大佐

川崎海軍中佐

本庄傷兵保護院總裁

岡田厚生次官

兒玉傷兵保護院副總裁

持永傷兵保護院業務局長

新井臨時軍事援護部長  
 入江厚生書記官  
 平居傷兵保護院書記官  
 吉富厚生事務官  
 村上書記官長  
 堀江書記官  
 高辻書記官

(午後一時三十分開會)

河合委員長開會ヲ宣ス

廣瀨厚生大臣ヨリ本案ノ大綱ニ付説明アリ

鈴木(貫)顧問官ヨリ軍事援護事業ノ將來ニ付質

問アリ廣瀨厚生大臣ハ同事業ノ概目ニ付説明シ

將來ハ各方面トモ一層廣汎複雑トナルベキモ本案

ノ軍事保護院ヲ創設シ保護ノ完璧ヲ期スベキ旨

ヲ述ブ同顧問官ハ尚赤十字社、濟生會等ノ社會事

業團體ノ行フ軍事援護事業ノ關係ヲ尋ネタル

ニ對シ岡田厚生次官ハ軍事援護ハ一般社會事業

ト別箇ノ指導精神ヲ要スルモノナルガ故ニ政府

區 密 院

及地方公共團體ニ於テ直接之ヲ行ヒ新ニ設置セラレタル<sup>恩賜</sup>軍人接護會及各市町村ニ存在スル銃後奉公會之ガ補充ヲ爲スル基本トシ一般ノ社會事業施設ハ間接的ニ軍事接護事業ニ關與シ居ルモノナル旨ヲ答フ

窪田顧問官ヨリ傷兵保護院ノ擔當セル事業ノ進捗狀況ニ關シ質問アリ岡田厚生次官及兒玉傷兵保護院副總裁ヨリ傷病兵ノ療養施設及其ノ職業再教育施設ニ付相當ノ進捗ヲ見ツツアルモ未ダ全能率ヲ發揮スルニ至ラザル旨ノ説明アリ

鈴木<sup>(註)</sup>顧問官ハ本案ノ機構改革ニ付質問ニ廣瀨厚生大臣ハ従前ノ沿革ヲ説明シ其ノ必要ナル所以ヲ述ブ

清水顧問官ハ軍事保護院總裁等ヲ特別任用トシタル理由及特別任用制度ニ關スル將來ノ方針ニ付質問シタルニ對シ岡田厚生次官及入江法制局參事官ハ本案ニ於テハ右ノ諸官ニ適任者ヲ得ンガ爲ニシテ特別任用ハ將來ニ於テモ各具體の場合ニ付之ヲ考究スベキ旨ヲ答フ

潮顧問官ヨリ軍事保護院總裁ヲ名譽官トシタル

區 密 院

理由及名譽官制度ノ將來性ニ付質問アリ廣瀨厚生大臣及黒崎法制局長官ヨリ軍事援護ハ一般ノ社會行政ト殊別シ其ノ對象タル者ノ心持ニ察シテ之ヲ擔當スル機關ノ總裁ヲ名譽官トシタルモノニシテ一般ニ名譽官ノ設置ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ要シ特殊事情アル場合ニ限ルヲ適當トスベク親任官タル名譽官ハ先例ナキ旨ノ答辯アリ

河合委員長ハ結核患者ハ陸軍病院ヨリ直接結核療養所ニ收容スルノ必要ヲ述べ傷疾軍人ノ教養ニ關シ質問シタルニ對シ飯沼陸軍省人事局長及兒玉傷兵保護院副總裁ハ患者ノ收用ニ關シテハ努力スベキ旨ヲ述べ傷疾軍人ノ教養ニ付テハ充分ノ留意ヲ拂ヒ大體良好ナル旨ヲ答フ同委員長ハ尚<sup>恩賜</sup>軍事援護會及銃後奉公會以外ノ各種軍事後援團體ニ對スル當局ノ方針ヲ問ヒタルニ對シ岡田厚生次官ハ新ナル設置ハ之ヲ避ケ既存ノモノハ漸次統合スベキ旨ヲ答フ

右ヲ以テ委員長ハ質問終了ト認メ國務大臣以下ノ退席ヲ求ム

（國務大臣及説明員退席）

其ヨリ委員間ノ協議ニ入り意見交換ノ結果本案  
ハ此ノ儘可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以テ議決  
セリ

乃チ河合委員長閉會ヲ宣ス

(午後三時五十分閉會)

世傳御料解除ノ件審査委員會

昭和十四年七月十一日(火曜日)本院事務所

於テ開會

出席者

原 副議長

審査委員長

鈴木(貫之)顧問官

審査委員

窪田顧問官

區 啓 完

八